



ドイツからやってきた国際交流員(CIR)の  
アネマリー・グンツェルさんが、ドイツの文  
化や田川での生活などを紹介します。

●アネマリーさんのブログ公開中!  
<https://tagawacir.wordpress.com/>

スマホ、携帯電話は  
こちらから

QRコード→



## ドイツの子どもが大好きなおじいちゃん：聖ニコラオス

ドイツの子どもたちは、12月6日の朝を  
楽しみに待っています。なぜなら、Sankt  
Nikolaus(聖ニコラオス)が、12月5日の夜  
に、子どもたちが部屋の前に置いたスリッ  
パや靴下に、お菓子と小さなプレゼントを  
入れると言われているからです。

聖ニコラオスは、4世紀頃にパトラ町(現  
在のトルコ)に生まれたキリスト教の主教  
でした。聖ニコラオスは、子どもたちや貧  
しい人たちを支えたという説があり、彼が  
亡くなった12月6日は聖ニコラオスが贈り  
物をプレゼントしてくれる記念日になりま  
した。また、スリッパを綺麗に磨いておくと、  
大きなプレゼントをもらえるという言い伝  
えがあるため、子どもたちは12月5日の夜

に自分のスリッパをピカピカに磨き、次の  
日の朝を楽しみに眠ります。

他の国では、聖ニコラオスは12月24日の  
夜にプレゼントをくれる「サンタクロース」  
の名でよく知られています。しかし、ドイ  
ツでは12月24日にプレゼントをくれるの  
はChristkind(クリスマスクリストキントの天使)なので、  
聖ニコラオスの日とクリスマスの日が共に  
存在してきました。ドイツの子どもたちは、  
12月に2度もプレゼントをもらえることを  
とても喜んでいます。

今日の言葉

Sankt Nikolaus (聖ニコラオス)